

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジ-n-オクチルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する
延長毒性試験－14日間

試験番号

7B806G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204「魚類延長毒性試験－14日間」
(1984年) に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-n-オクチル
- 2)暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 14日間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区および20.0mg/L (限度試験)
- 6)試験液量： 32L/日 (23.0mL/min, 5.0L容ガラスビーカー使用)
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)照明： 16時間明/8時間暗
- 10)試験温度： 24±2℃
- 11)試験液の分析： HPLC法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度： 測定濃度の設定濃度に対する割合は±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2)14日間の最小致死濃度： >20.0mg/L
- 3)14日間の最小作用濃度： >20.0mg/L

- 4) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) : >20.0mg/L
- 5) 7日間の半数致死濃度 (LC50) : >20.0mg/L
- 6) 14日間の半数致死濃度 (LC50) : >20.0mg/L